

みどりかがやく

ヤマザクラが満開です

本校のシンボルツリーであるヤマザクラが満開になりました。ヤマザクラはソメイヨシノと異なり、開花とともに若葉を開くのが特徴とされています。また、ソメイヨシノはオオシマザクラとエドヒガンザクラを交配して作られた種類ですが、オオシマザクラはヤマザクラの仲間です。そして、ソメイヨシノが広まる明治時代以前には広く国民に親しまれていたサクラでもあります。



校舎からの見たヤマザクラ

本校のヤマザクラは幹の直径が1 m以上ある立派なサクラです。今年は1年生の入学と2・3年生の進級を祝福するかのよう、この時期に満開になりました。まわりの樹木の

もえぎいろ萌葱色を背景とし、ソメイヨシノより少し白っぽい清楚な花を咲かせ、凜として校庭に立っています。

さて、新型コロナウイルスの影響により、3月2日（月）から臨時休校になったり、東京オリンピックが延期になったりと、これから先の予定がどうなるのか不透明な部分があります。しかしながら、学校の役割が変わるわけではありません。学校は教科の学習の場であり、また、人との関わり方を学ぶ場です。そして、今までできなかったことができるようになったり、わからなかったことがわかるようになったりする場所です。今年は残念ながら、例年のような入学式ができたわけではありませんし、いつものような授業ができる環境でもありません。特に新しく中学生になった1年生は、学習や学校生活に慣れる時期で不安もあると思います。それでも、今できることに一生懸命取り組むことで、小学生より大人の、中学生としての在り方を学んでほしいと思います。また、2年生は先輩として、学習への取組や生活の仕方について、1年生の良い手本となってほしいと思います。そして、3年生はあと10ヶ月後に控えた自らの進路実現に向けて、あせらず、あわてず、あなどらず学習やさまざまな取組を着実にやっていってほしいと思います。

ヤマザクラの材質は素直で反りも少なく、強度もあるので上質な木材として重宝されています。また、サクラの中では寿命も長く、200～300年も長生きするとされています。本校は開校36年目になりますが、シンボルツリーのヤマザクラは、本校が開校する以前からこの地に生を受けたものであろうと推測されます。本校の生徒もヤマザクラのように素直で、芯は強く、長く好かれる人として成長してほしいと願っています。